

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)見附台周辺地区型車庫管理運営事業(A-Cブロック)(付帯事業)Cブロック	階数	地上2F
建設地	平塚市錦町4番4	構造	S造
用途地域	商業地域・防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,570時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年2月4日
敷地面積	3,664㎡	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	2,683㎡	確認日	2020年2月4日
延床面積	5,257㎡	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
近隣のまちなみに配慮し低層計画とした	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 室内環境のゆとり配慮
Q3 室外環境 (敷地内)	
LR1 エネルギー 必要部位に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な工法の採用
LR3 敷地外環境	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される